

平成 1 7 年度

建設混合廃棄物  
分類・分散処理推進事業の研究

報 告 書

平成 1 8 年 3 月

岐阜社会基盤研究所

社団法人 岐阜県建設業協会

# 目 次

## 第 1 章

1 · 1	研究目的 · · · · ·	3
1 · 2	研究組織 · · · · ·	3
1 · 3	研究経緯 · · · · ·	4

## 1・1 研究目的

岐阜県では、産業廃棄物処理の自己完結を目指し、平成 8 年から「地球環境村構想」を推進されてきたが、全国的な傾向として環境問題への関心が高まり、産業廃棄物処理施設建設についての地域住民の合意形成が困難となっており、更に一連の大規模不法投棄事件の発生により産業廃棄物に対する県民の不安感・不信感を増幅させている。

特に、建設工事から排出される産業廃棄物のうち、土木工事から発生するものは高いリサイクル率となっているが、解体工事から発生するガラス、木くず、プラスチック類が混ざった混合廃棄物は分別処理が難しく、不法投棄全体に占める割合も大きなものとなっていることから、建設混合廃棄物の適正処理を進めるため、官民協働して県内の必要な地域に選別・破砕施設等を備えた「建設廃棄物選別資源化センター」の整備を図り、産業廃棄物を種類ごとに細分化し、民間の各種リサイクル施設を活用しながら県下各地で分別・分散処理を推進する方針を打ち出している。

「建設廃棄物の分別・分散処理」の推進を図るためには、建設廃棄物選別資源化センターの整備に必要な助成制度等、国・県の積極的な支援・協力が必要であることから岐阜社会基盤研究所の研究テーマとし、産官学連携により事業化に向けた取組みを行う。

## 1・2 研究組織

岐阜大学、岐阜県、岐阜県建設業協会、岐阜県産業環境保全協会

### 1・3 研究経緯

平成 17 年度の研究テーマとして、「建設混合廃棄物分類・分散処理推進事業の研究」に取り組んできたが、次の理由から一定の成果に達したため、研究を終了したい。

< 終了の理由 >

- ・不法投棄全体に占める割合の大きい建設混合廃棄物の適正処理を図るため、官民協働して県内の必要な地域に選別・破碎施設等を備えた施設整備の研究を開始し、他県の先進施設調査や協会環境委員会・専門委員会で検討を行ってきた。
- ・県との合同研究体制の中で、今後は環境局が中心となり、「建設廃棄物再資源化促進事業」を立ち上げるとの回答があり、協会からも環境委員会委員が 1 名委員として参加することとなった。
- ・同事業では、各圏域に再資源化施設の建設を検討されており、岐阜圏域では候補地選定等、具体的な検討に入っている現状から、一定の成果に達したため基盤研の研究を終了したい。